

「第二次生物多様性いしかわ戦略素案」についてのパブリックコメント実施結果

○実施期間 令和7年8月16日（土）～令和7年9月14日（日） 30日間

○ご意見を提出していただいた方の人数及び件数 22名 185件

○ご意見への対応

対応内容	件数
① ご意見を踏まえ、修正するもの	46件
② 今後の参考とするもの	132件
③ ご意見の趣旨や内容について、考え方を既に盛り込み済であるもの	1件
④ その他（案そのものに対するご意見でないもの等）	6件

○主なご意見の概要と方針

No	分野	ご意見	対応	該当 ページ
1	一次戦略	一次戦略の評価が掲載されていないので、二次戦略の目標や計画の設定理由がわからない。	一次戦略の評価を追記しました。	32
2	市の課題	課題についての記載がない。市が課題を示すことで、市民が自分のこととして受け取れる。	課題について追記しました。	41
3	公園	公園面積について、面積の記載だけではなく評価の記述があった方が良い。	評価の記述を追記しました。	40
4	施策内容	「市民のレクリエーションの推進」は、「レクリエーション＝遊び」との誤解が生じないようにしてほしい。	「生物多様性に配慮しながらレクリエーションの場とする」と記載しました。	49

No	分野	ご意見	対応	該当 ページ
5	自然共生 サイト	大町自然観察園や大柏川第一調節池緑地について自然共生サイトへの登録を目標とすることを検討してほしい。	具体的な場所ではなく、水辺の拠点、緑の拠点等を自然共生サイトに申請する旨を記載しました。	46
6	里見公園	県内でも貴重な絶滅危惧種が多数生息している「国府台フジバカマの里」についても触れてほしい。	里見公園の紹介とともに、里見公園下にフジバカマが自生している旨を記載しました。	60
7	じゅん菜池	じゅん菜池の水質がこれ以上悪化しない対策をしてほしい。	水辺環境の復元を図る旨を記載しました。	61
8	じゅん菜池	市、市民団体、教育機関が協働で実施しているじゅん菜池の生態系を再生する取り組みを記載してほしい。	じゅん菜池の取り組みとしてコラムに記載しました。	64
9	江戸川放水路	江戸川放水路の自然干潟等は希少な生物が多数生息していることから、「多様性に配慮された整備」と記載してほしい。	「東京湾最奥部の泥干潟から砂干潟に至る多様な干潟環境となっています」と記載しました。	70
10	江戸川放水路	江戸川放水路について市としての保全・再生の示し方が不十分。利用ルール徹底や環境学習の実施など具体的な方向性を示すべき。	環境学習の場として活用されている旨を記載しました。ご意見は今後の参考とさせていただきます。	70
11	予算	30年後の市川市が自然と生き物の豊かな癒しの都市となるため、いちかわ戦略の全ての施策に必要な予算を計上してください。	今後の参考とさせていただきます。	—
12	外来生物	外来生物対策として、アライグマ以外で身近に見かけるアカミミガメ、オオブタクサ等を捕獲した場合の処理方法についての周知、啓発、引き取り対応策等の検討を望みます。	今後の参考にさせていただきます。	—